
淫乱サキュバスと穢れなきシスターをパーティで籠絡して子作りハーレムエッチ
～男が産まれない異世界へ召喚された俺がヒロインを充てがわれて子作りエッチ4～
漫画 針金紳士
淫乱サキュバスと穢れなきシスターをパーティで籠絡させて孕ませろ！
R18
成人向け
FOR ADULT ONLY
18歳未満の購入・観覧禁止
りふれほコミック




王都辺境――
はぁ～ぁ
やっぱり女の子じゃ効率悪いわねぇ
あの子…早く罠にかかってくれないかしら～

王都で起きている
行方不明事件調査への
協力…ですか

ええ…

本来救世主様に
お話するような事では
無いのですが…

〝聖女〟からの頼みと
あっては無碍にも
出来ず…

聖女…？

はい

魔を祓う力を持つ
教会の象徴とも
言える人物でして

詳細は言えない事情が
あるようなのですが
救世主様の力が必要だと…

成程…

まぁ城下なら
そんなに遠くない
ですし

何の協力かは分からないですが…

万一危険が
あるとしても

護衛は私に
お任せください!!

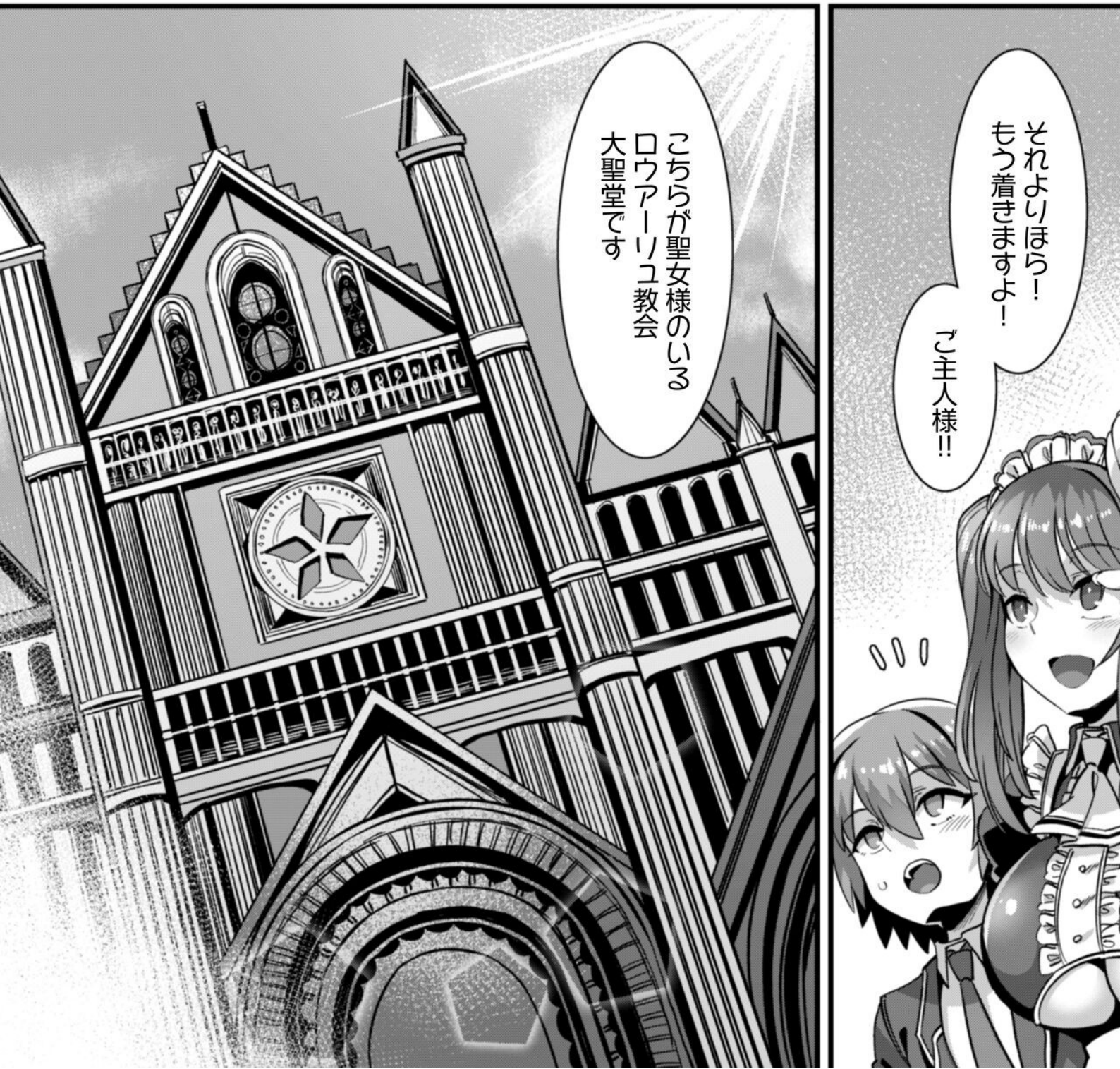
リコッタさん
がいますし

…まぁ

そうですね…
では

すみませんが
救世主様どうかよろしく
お願いします


…で
どうしてまた
お前たちも一緒に
着いてきてるんだ!?
女王からリコッタ様の
監視をするようにと
そもそもご主人様のお世話係です
です♥
むぅ…


それよりほら!
もう着きますよ!
ご主人様!!
こちらが聖女様のいる
ロウアーリュ教会
大聖堂です


お待ちしておりました
救世主様
お初にお目にかかります
レインと申します
は…初めまして
よろしく
その…
目隠しの事って
聞いても大丈夫ですか？
ああ
私の目は魔眼と呼ばれるもので
あまり人目に触れさせるような
ものでも有りませんので…
魔眼…
まぁ人に被害がある
ようなものでは
無いのですが
魔力で知覚を補えば
日常生活には不便も無いので
いつの間にか慣れてしまって
へぇ…
凄いですね…


さて…今回お呼びした
理由なのですが
実は昨今起きている
事件に淫魔が関わって
いる事が分かりまして…
淫魔って…あの
こっちに来てからまだ魔物って
実際会った事無かったけど…
やっぱりいるんだ…
ご存知ですか


主に男性の精気を
狙って糧とする習性が
あり知能も高く
魅了魔術を使って
人々を操るのに長けている
恐ろしい魔族です
じゃあ依頼って
いうのは…
まさか囮役に呼んだと
いう訳では無いだろうな？
……
いえ
端的に言うと
その通りです…この国に
男性は貴方だけですので


ふざけるな!!
ご主人様を危険に晒す事など許せる訳が無いだろう!!
リコッタさん ちょっと 落ち着いて
お怒りはご尤もですがこちらも無策で臨む訳ではありません
安心して欲しいと言って簡単に信じて頂けるとは思いませんが…
ただ…淫魔は本来男性を獲物とする魔族…
女性しか居ないこの国で非効率な魔力吸収を続けられたら…近い内死者が出てもおかしくありません
それはそうだがしかし…!!
万一淫魔が想定外の動きをしたとしても…


私の魔眼に誓って
救世主様には一切手出しをさせないとお約束します
これが祓魔の魔眼…直に見るのは初めてだが…これ程のものだとこの自信も納得ではあるが…
……っ
だ…だがご主人様の意思は…
心配してくれてありがとうリコッタさん…でも

僕は大丈夫ですよ
そのために来たんですから

…と言ってもまぁ
お役に立てるかは
わからないですけど

詳しくは明日
ご説明しますね

今日はもう遅いので
宿舎に泊まっていって
下さいませ

…淫魔かぁ
ゲームとかでは見たことあるけど
実際どんな感じなのかな…

…ってダメだ
気を引き締めないとな

やはり女王様から
聞いていた通りの
お方ですね

え？

いえ…
ありがとうございます

わかりました

今日は珍しく外を出歩いたからか…
急に凄く…眠気が…

ふあ…


すー…っ
すー…
こんっ？
あれ…？
まだ夜かな…？
キョロ
キョロ
ここは…
僕の部屋…？
確かさっき教会の宿舎で寝たような…まぁいいか…
なんだか誰かの声がする――
誰か起きてるのかな…？
ギシッ
この部屋からかな…
誰の部屋だっけ…？
んぅ♥
あぁっ…♥
この声って…？
ギィ…
レインさん…!?
なんでこんな所で…というか何して…っ
ん…っ♥
こんな…
はしたない事…っ♥
ざっざっ
ぐちゅっ
神様…お許し下さい…っ♥
そんな事より覗いてなんかないで自分の部屋に戻らなきゃ――
ガチャ
!?

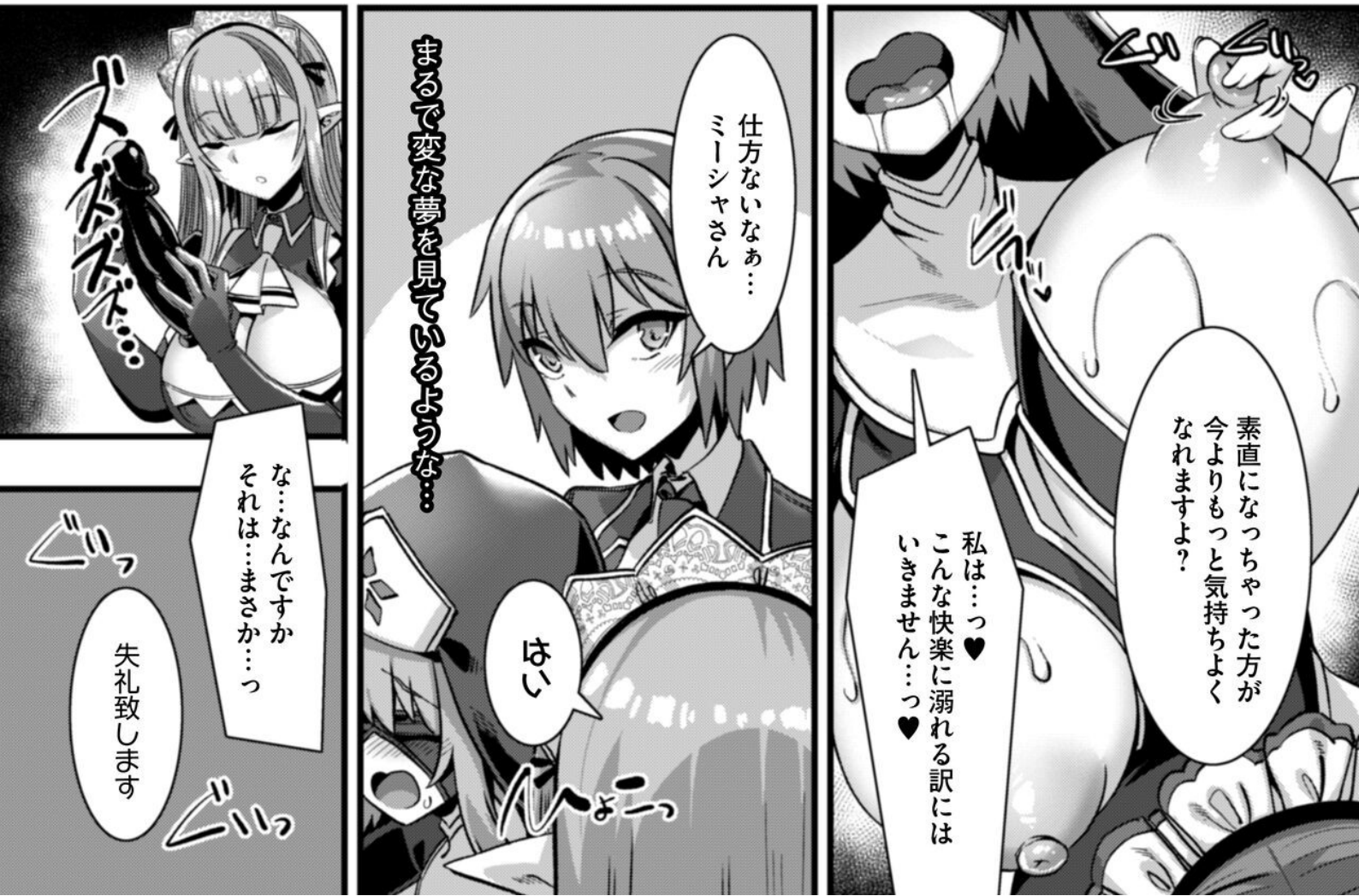

レインさん
こんな夜中に何をしているんです？
救世主様…!?
これはその…っ
聖女様が隠れて自慰に耽っているなんて…
なんだ…身体が勝手に動いて…っ
考えても無い言葉が僕の声で…!!
もうこんなに濡らして…
毎晩こうやって一人でしてるんですか？
ち…ちがっ
これはその…
気の迷いで…
ふうん…？
本当ですか？
こんなにすんなり指が入っていくのに？
何をしてるんだ僕は…っ!?
早くこんな事やめないと…
なのに…自分の意思で身体が動かない…っ
それならそれで凄い素質ですけど
ち…違っ
そんな事…っ


違う？
何がですか？
私…そんな淫らな
事は…っ
あっ♡
もうこんな音
出る程濡らして
全然説得力
無いですけど
違うのは
「いつもオナニーしてない」
って事でしょう
そんな訳…っ
んっ♡
ぐぉぉっ♡
はは
すごい声
出ちゃってますよ
や…やめて下さい
救世主様…っ
こんな事…っ
んあっ♡
ふぅん？
やめて欲しい
んですか？


全然そんな風には
見えないですけど
聖女様はまだまだ
素直になれないようですね
本当はもっと色んな所を
めちゃくちゃにされたいって
思ってるくせに
そうですか？
!!
そ…そんな事
思っていません!!
何を勝手な


リーシャさん
はい♥
!?
リーシャさん…!?
急にどこから現れたんだ…？
あ…貴方…
何を…
レイン様
失礼しますね♥


感触とかはすごくリアルなのに…
自分で自分の身体を動かせなくて…
やめてください…っ♥
そんなところ…っ♥
同時になんていけません…っ♥
あぁ♥
んっ♥
うごっ♥
誰かが僕を操っているのを
後ろから見てるみたいだ…
レインさんも
強情だなぁ
やめて欲しいだなんて
思ってもないくせに


素直になっちゃった方が
今よりもっと気持ちよく
なれますよ？
私は…っ♥
こんな快楽に溺れる訳には
いきません…っ♥
仕方ないなぁ…
ミーシャさん
はい
まるで変な夢を見ているような…
な…なんですか
それは…まさか…っ
失礼致します

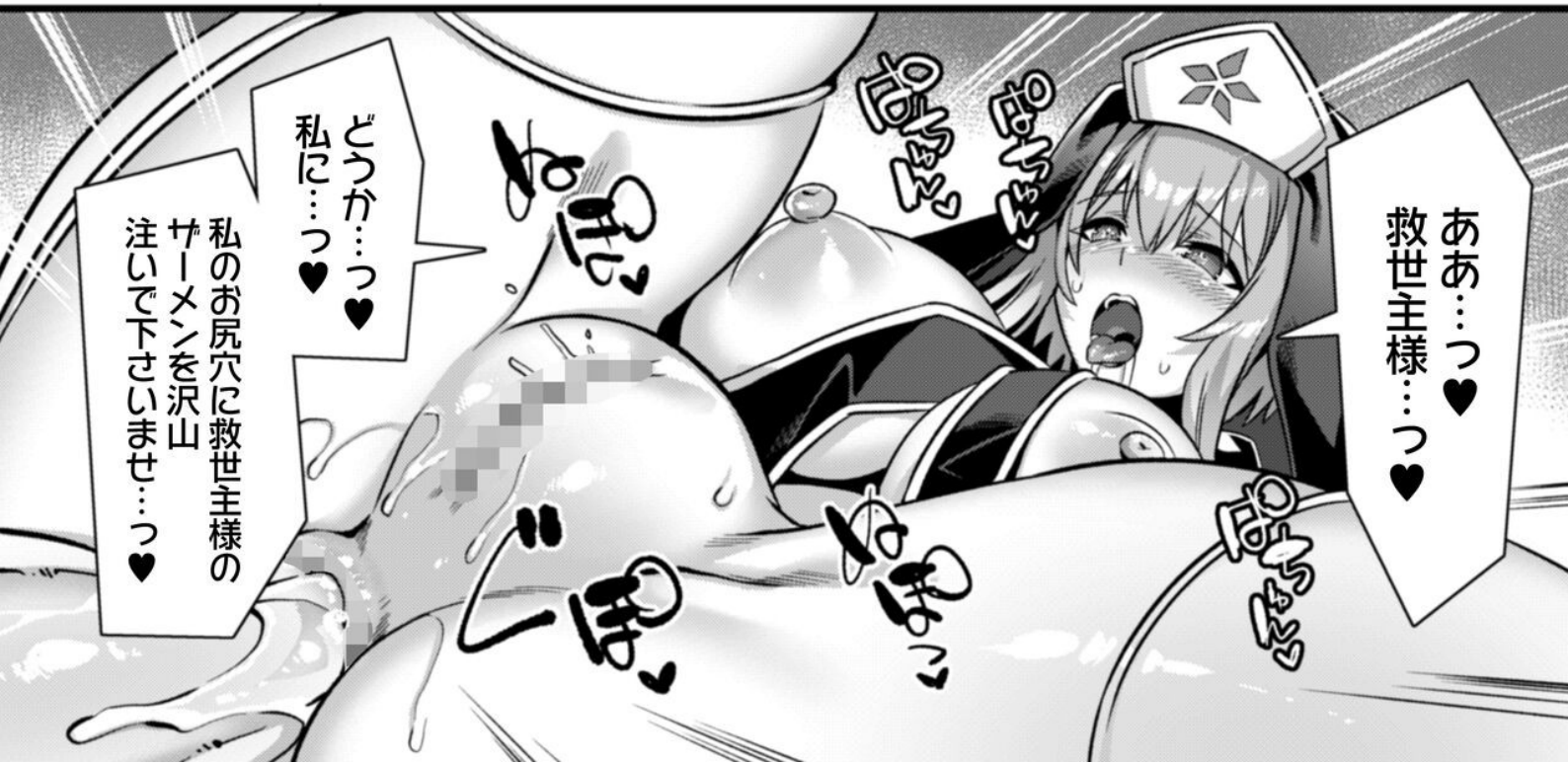

う…うそっ
そんなの入らな…っ♥
やめ…っ♥
挿入っちゃう
レインさんも
レインさん
ですけど
これはレイン様が
ご自分で望まれた
事ですので
はは…っ
こんなの急に
挿れちゃかわいそう
でしょミーシャさん
私が…っ!?
そんな訳…っ
いいえ…
だって


これはレイン様の夢の中
私達はレイン様が望むままに行動しているだけですから
そ…そんな…っ
そんな事出鱈目です…っ
そう思いますか？
本当に？
聖女として祭り上げられ行動が制約されて
欲を押し殺して生きなければならない貴女は心のどこかで解放を欲していたのでは？
そんな訳ありません…っ!!私のこの役目は…っ
正直になって下さいレイン殿

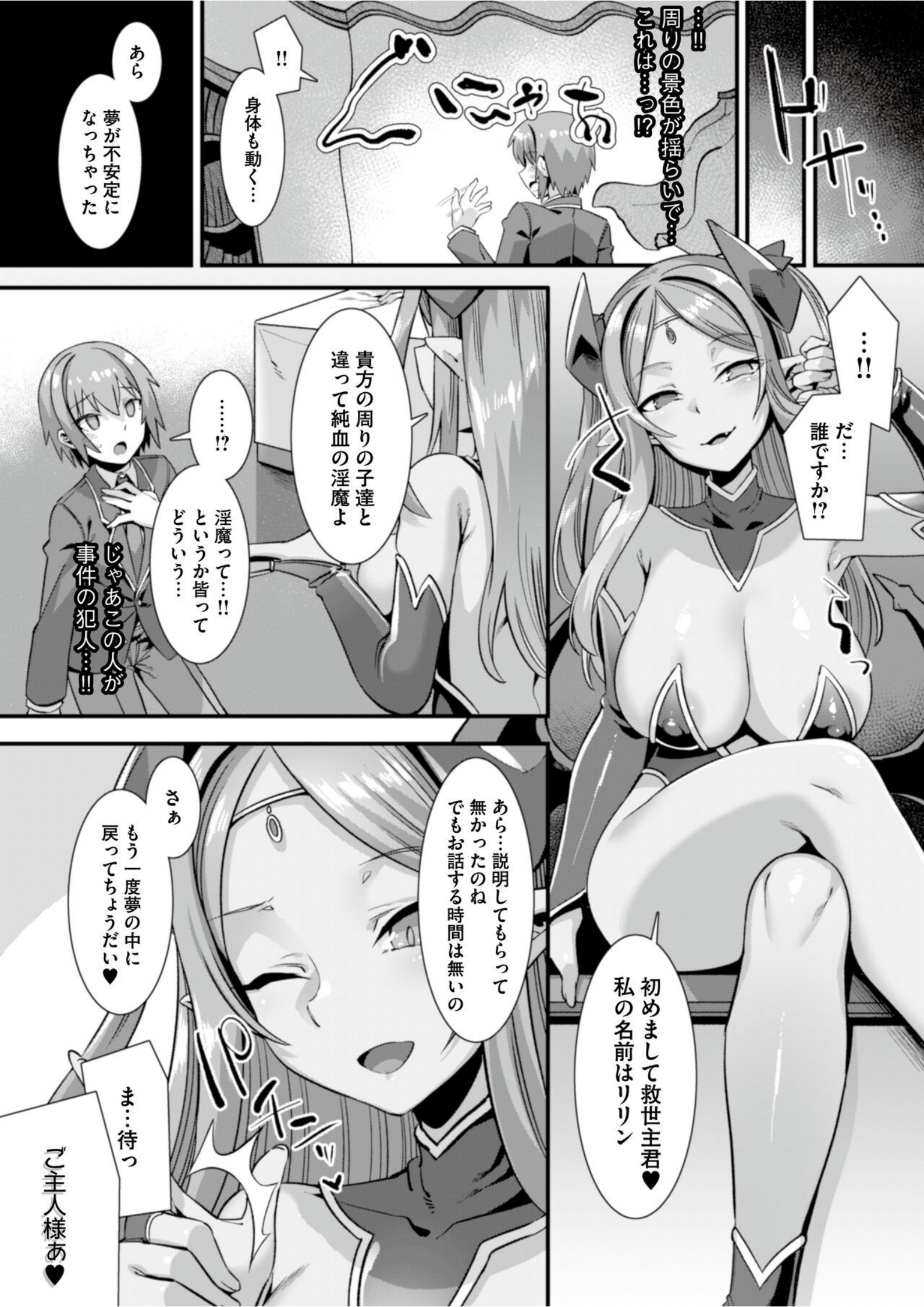

リコッタ様
貴方まで…っ
これはきっと邪悪な
幻…ならば…っ
ペチン
淫魔の見せた幻
ならば私の前から
消えなさい…っ!!
!!


消えない…っ!?
ど…どうしてっ
じゃあ貴方達は…
先程から申し上げて
おります通り
これはレイン様自身が
望まれた夢
い…いやっ
うそです…
そんな…っ
本当にこれは私が
望んだ事…?
だからレインさんの
望んだ通りこの夢の中で
いっぱいイカせて
あげますよ♥
だとしたら…私…


ああ…神よ…っ♥
どうか…っ♥
どうかお許しを…っ♥
わ…私は…っ♥
乳首をつねり上げられるだけでっ♥
絶頂してイキ潮撒き散らしっ♥
不浄の穴を穿られて快楽を貪るような淫らな女です…っ♥


ああ…っ♥
救世主様…っ♥
どうか…っ♥
私に…っ♥
私のお尻穴に救世主様のザーメンを沢山注いで下さいませ…っ♥


レインさんは本当に
気持ち良くなる事しか
考えてない聖女様ですね
でもまぁ
正直になったから
ご褒美あげますね
ああ…っ♥
射精しますよっ…!!
どくどくって…♥
あついのがおなかに
はいってきますぅ…♥


あら
夢が不安定になっちゃった
!!
身体も動く…
…!!
周りの景色が揺らいで…
これは…っ!?
ぐにゃ
ドサッ…
…!!
だ…誰ですか!?
初めまして救世主君♥
私の名前はリリン
貴方の周りの子達と違って純血の淫魔よ
……!?
淫魔って…!!
というか皆ってどういう…
じゃあこの人が事件の犯人…!!
あら…説明してもらって無かったのねでもお話する時間は無いの
さぁ
もう一度夢の中に戻ってちょうだい♥
ま…待っ
パイーン
ご主人様あ♥



い…いや今はそれどころじゃなくて事件の犯人がそこに…っ!!

皆の様子がおかしい…っまさかまた…っ

今度は身体だけじゃ無い…

意識も…消え…

いや

そうだねそんな事より皆の方が大事だった

……

そうだ

僕が一人だと同時に出来ないから

こうすれば皆一緒に出来るよね

はいっ♥

うっ……

また…身体が…っ


おっ♥
ご主人様そんないきなり…っ♥はげし…っ♥
ゆっくりの方が良かった？
ぱちゅんっ
ぱちゅんっ
ぱちゅんっ
えへへ…♥
激しくして頂ける方が好きですっ♥
そっか
それなら…っ!!
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ


赤ちゃん大きくなったら
あんまり激しくは
出来ないですから…
だから…今のうちに…♥
ご主人様…♥
そうだね
でもそうなっても
身体に障らない
ようにしながら
リーシャさんを
満足させられるように
頑張らなくちゃね
…！
はい…っ♥
ありがとうございます♥
よろしくお願いしますね♥


御主人様…っ
そこばっかり…♥
ミーシャさんは
これ好きでしょ？
それは…っ♥そう…
ですけど…っ♥
これでは…っ♥
私ばかりが
気持ちよくなって…っ♥
ん…っ♥
で…でもっ…♥
僕もちゃんと
気持ち良いから
大丈夫だよ


ミーシャさん達に
こうして喜んでもらうのも
僕の役目なんだし
何より僕自身がそれを
聞きたいと言っても？
そんな…
ご主人様は
ズルいです…♥
では…キスをしたまま
して頂けますか…？
勿論
ミーシャさんくらい
もっと言ってくれて
良いのに
私は…っ
ご主人様のお世話を
させて頂けるだけで…っ


夢だからってまた触手でいじめられたいだなんて
リコッタさんはやっぱりちょっと変態だよね
な…っ
こ…これは元はと言えばご主人様が…っ!!
ふうん？元から好きだったんじゃ無いの？
そ…そんな事は…っ♥
まぁ変態なリコッタさんも僕は好きですから
あ…っ♥ ああ…っ♥
そんな事を急に言わないで下さい…っ♥


もっと見せて下さいよ
リコッタさんが乱れるところ♥
うう…っ♥
あぁ…♥
触手はまだまだありますから楽しんでくださいね…♥

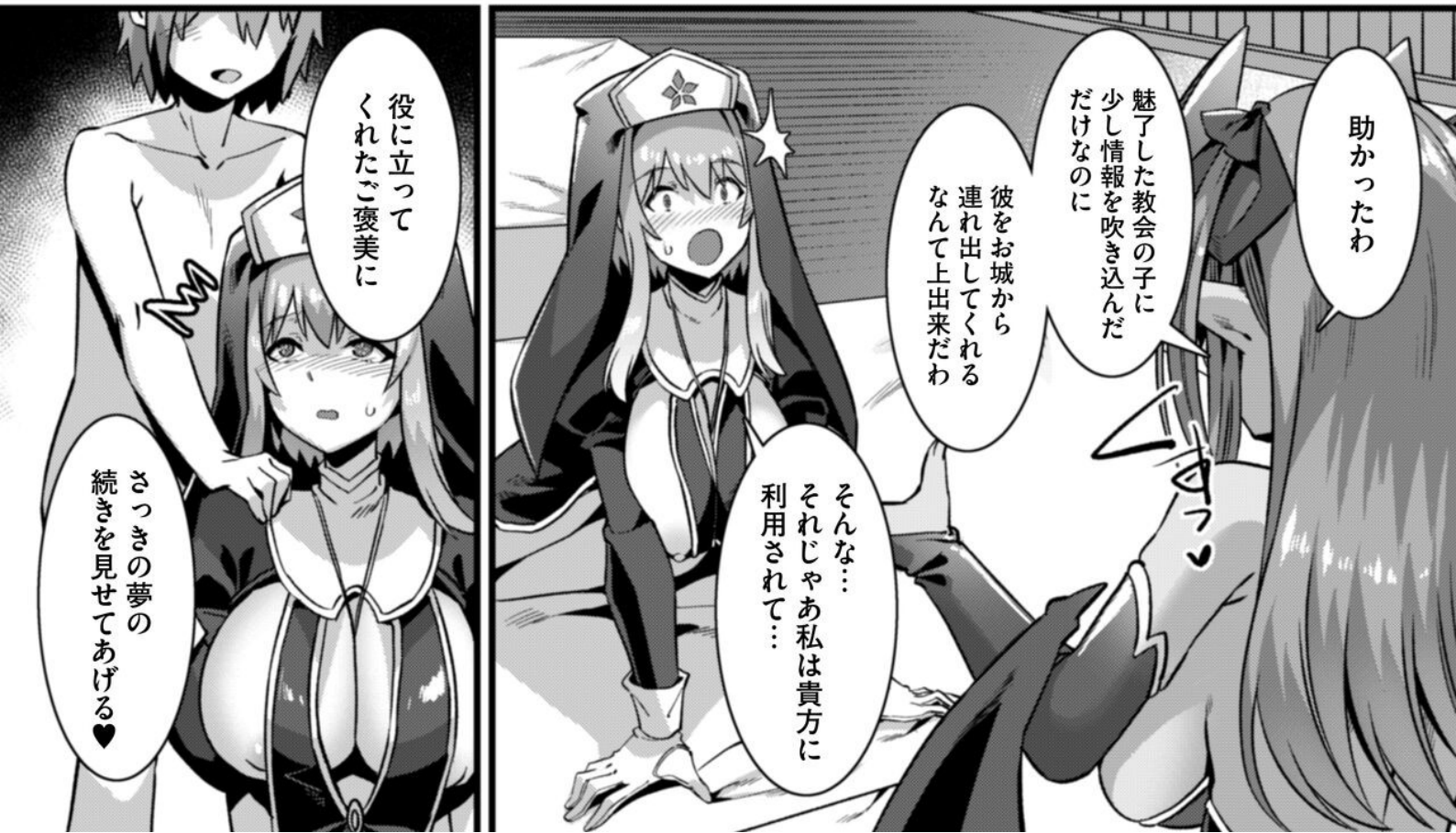

分身は夢が作り出した虚構――
とは言え私の作った夢だから
精気は本当に消費している
だというのにこれだけの人数を
一度に相手して無事だなんて…
流石は救世主って事かしら
ここで食べてしまうのは
勿体ない位の素材だけど…


でも
残念…♥


貴方達も
ごめんなさいね♥
彼の精気は私が
全部貰っていくけど
せいぜい夢の中で
思い切り楽しんでね♥


射精る…っ!!
ぶるる…
ぢゅるるる…
ぢゅるるる…
おぉぉぉぉ〜っ♡


ん…
こ…
ここは…!?
先程までの出来事は
一体…っ
あら
ようやくお目覚めね
レインちゃん♥
あ…貴方は!!


助かったわ
魅了した教会の子に
少し情報を吹き込んだ
だけなのに
彼をお城から
連れ出してくれる
なんて上出来だわ
そんな…
それじゃあ私は貴方に
利用されて…
役に立って
くれたご褒美に
さっきの夢の
続きを見せてあげる♥


レインさん♥
でも貴方がこういう事をされたがっているのは事実
ここは夢の中なのだから
ここでなら何をしたっていいのよ
レインちゃん♥
救世主様…いけませんこんな…
これは淫魔の罠で…っ!!
さっきの貴方の夢を作ったのは私だけど願望は本物だもの♥
う…っ
わ…私は…私は…っ


…ください
なんです？
声が小さいですね
救世主様のおちんぽ…っ♥
私のおまんこに挿れてずぽずぽして下さいませっ♥
はは良くなってきましたね
でもその前に
自分が気持ちよくなりたかったら先にする事がありますよね？
ああ…っ♥
私ばっかり気持ちよくなろうとして申し訳ございません…っ♥
これから犯して頂くおちんぽ様に感謝のご奉仕させて頂きますっ♥


じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ
ああ…♥口の中でどんどん大きくなって…♥
呼吸が出来ない苦しさとむせ返るような性器の匂いに頭がくらくらして…っ♥
必死にしゃぶりついてとても聖女様とは思えないような姿ですね
ああ…♥そんな事言わないで下さいませ…っ♥
もうコレくらいで大丈夫ですよレインさん
それじゃあどうぞご自分で挿れて下さい
…えっ
どうしました？やめても良いんですけど
い…いえっすみませんっ


ああ…私ったらこんな腰を突き出してはしたない格好で…っ
はーっ♥
はーっ♥
ビクッ
ビクッ
でも…っ♥救世主様とせっくす…っ♥せっくすしたい…っ♥
し…失礼致します…っ♥
ああ…っ♥救世主様のおちんちん挿入って…きたぁ…♥普段使ってる玩具なんかとは全然違う…っ♥
んおお…っ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ


こんな性欲を
押し殺して過ごすのは
辛かったですよねぇ
は…っ
はひ…っ♥
だからっ…私…っ♥
毎日何度も隠れて
オナニーしててっ♥
でも…全然
おさまらなくてぇ…っ♥
じゃあ
レインさん…よっぽど
溜まってたんですねぇ


レインさんが満足するまで
何度でもしてあげますから
あ…っ♥ ありがとうございましゅっ♥
私のおまんこっ♥ 壊れちゃうくらいっ♥
めちゃくちゃにっ♥ してくらしゃいっ♥
ぱちゅっ♡
ぱちゅっ♡
ぱちゅっ♡


ずっずおおお♡
そこ…っ♥
弱いから…っ♥
やめ…っ♥
へぇ…
それは「もっと」
って事かな
ニギュッ!?
にゃ…にゃんれっ♥
りゃめ…りゃめにゃの♥♥
こんにゃ…っ♥♥
ははっ
まさか乳首だけで
こんなに派手に
イッちゃうなんてね
うう…っ♥
らって…っ♥


突くたびにこんな
簡単にイッちゃって
じゅっぽっ♥
じゅっぽっ♥
こんなんじゃ
聖女の名が泣きますよ
ああ…っ♥
ご…ごめんなさいっ♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥
子宮口突かれただけで
イッちゃうよわよわ雑魚まんこで
聖女なんて名乗ってしまって…♥
ぐいっ♥
ぐいっ♥
ぐいっ♥
僕もそろそろ
射精しそうです
もっと大きな声で
言って貰わないと
わからないですよ
まぁでもビクビク動いて
こっちは気持ち良いから
良いんですけどね
ぱちゅっ♥
ぱちゅっ♥
ぱちゅっ♥
どこに射精して
ほしいですか？
そ…その…♥
なかに…っ♥
ん？


私の膣奥に
救世主様のザーメン…♥
たっぷり種付けして
孕ませて下さいませっ♥♥


あ…あれ
僕…
う…っ!?
頭が…っ
ごめんなさいね
無理矢理意識を
起こしちゃったから
リ…リリンさん
どうして
こんな事
皆も…止めさせて
くださいっ!!
だぁめ♥
これは私にとって
ご飯を食べるようなもので
必要な事なのよ
別にあの子達にも
嫌な事を無理にさせてる
訳じゃあないわ
夢の対価を
頂いてるだけ
そんなっ
!?


ふふ…っ♥
折角意識を戻して
あげたんだから
貴方も一緒に
楽しみましょう?♥
あぐ…っ
にゅぷぷっ♥
あは♥
直接は人間には刺激が
強すぎるかしら?
ビクビクッ
なんだこれ…っ♥
気持ちいいとかそういう
次元じゃない…っ♥
ビクビクビクッ
包まれているだけでまとわりつくように…
まだ動いてもないのに勝手に射精が…っ♥
止まらない…っ♥
いいわ♥
好きなだけ
射精して頂戴♥


他の娘もまとめて
相手にしながら
これだけの量を
出せるなんて…♥
あぁ♥
貴方想像していたより
ずっと素敵だわ…♥
ほぉら♥
もっと気持ちよく
なっちゃいましょう♥
貴方の精液全部
吐き出しちゃいなさい♥
あぁっ♥
いぐぅっ♥


このままやられっぱなしだと
僕だけじゃなくて皆も危ない…っ
うまくいくか分からないけど
こうなったら…っ!!
ふふ…
皆で相手してくれる
っていうのかしら？
淫魔に勝負を挑むなんて
無茶な事するのね貴方…
面白いわ♥
あら…？
ちゅっ
いいわ
乗ってあげよう
じゃない
何より
こうした方が私も
楽しめそうだしね♥

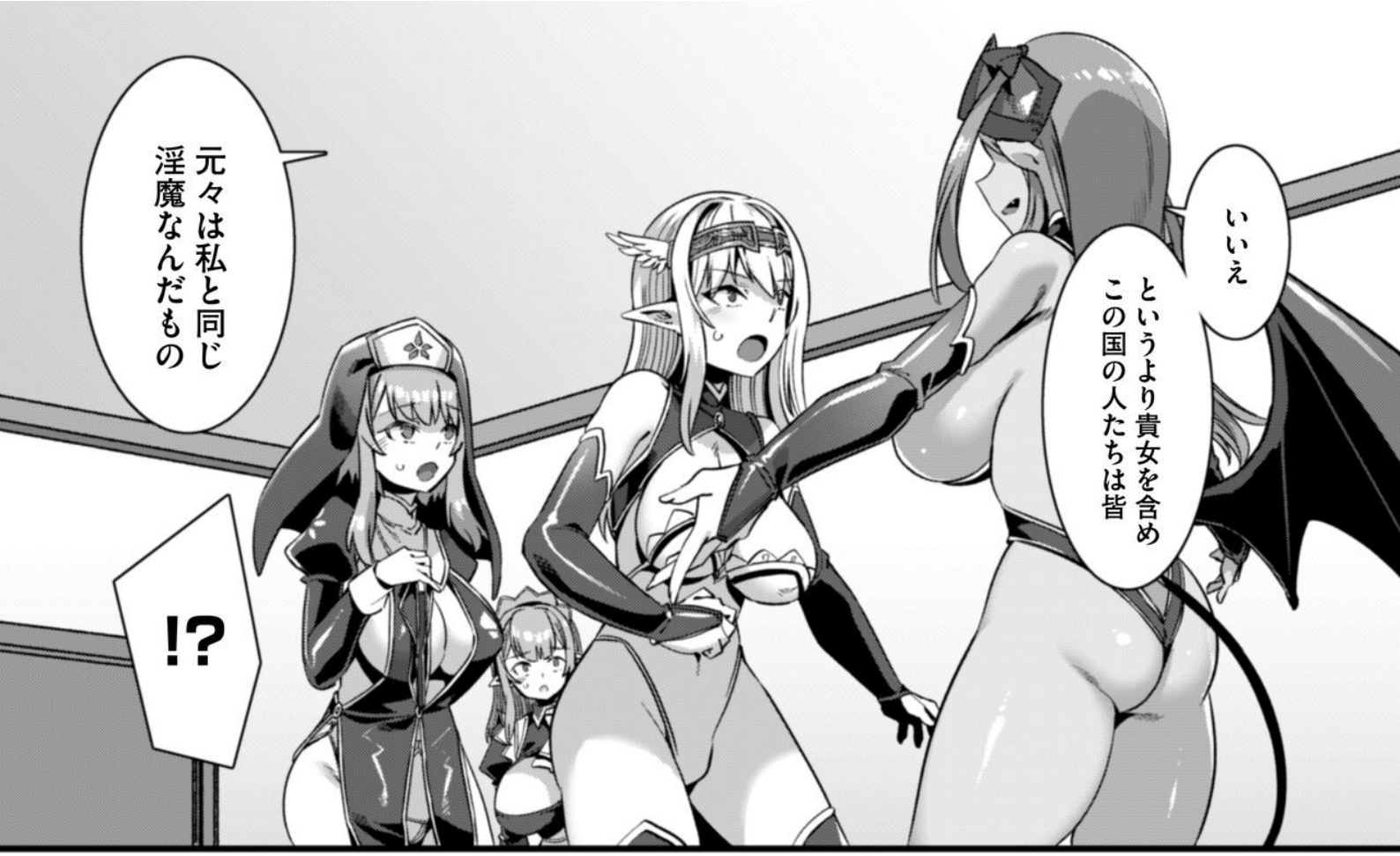

あ…っ♥
くぁ…っ♥
ああああっ♥
夢の分身とはいってもこれだけの数…
しかも私を相手にしながらこんなに耐えるなんて…
ま…またっ
イク…っ♥♥
この子…本当に普通の人間なの…？
これだけ射精しても全く止まる気配が無いどころか…
うぐ…
うあぁ…っ♥


むしろどんどん力が増してすらいるような…っ
勿体ないけど今回はこれ以上深入りせずに逃げ―
おっと…逃しませんよリリンさん
なっ…なんで人間なんかに…っ
しごっ…
ずぶっ…
マズいっ…このままじゃ…!!


イかされる――
あぁあああ♥
ビュッ
ビュッ
ビュッ


ここは…
戻ってこれた…かな？
――そうだ皆は…!?
むにゃ…あれ…
ご主人様…？じゃあさっきのは夢…？
ご主人様!!後ろに…!!
よかった無事みたいで
――くっ
わっ
ご主人様に手は出させんぞ淫魔め
どうやってここに入ったかは知らんが――
貴様その額の宝石は…っ

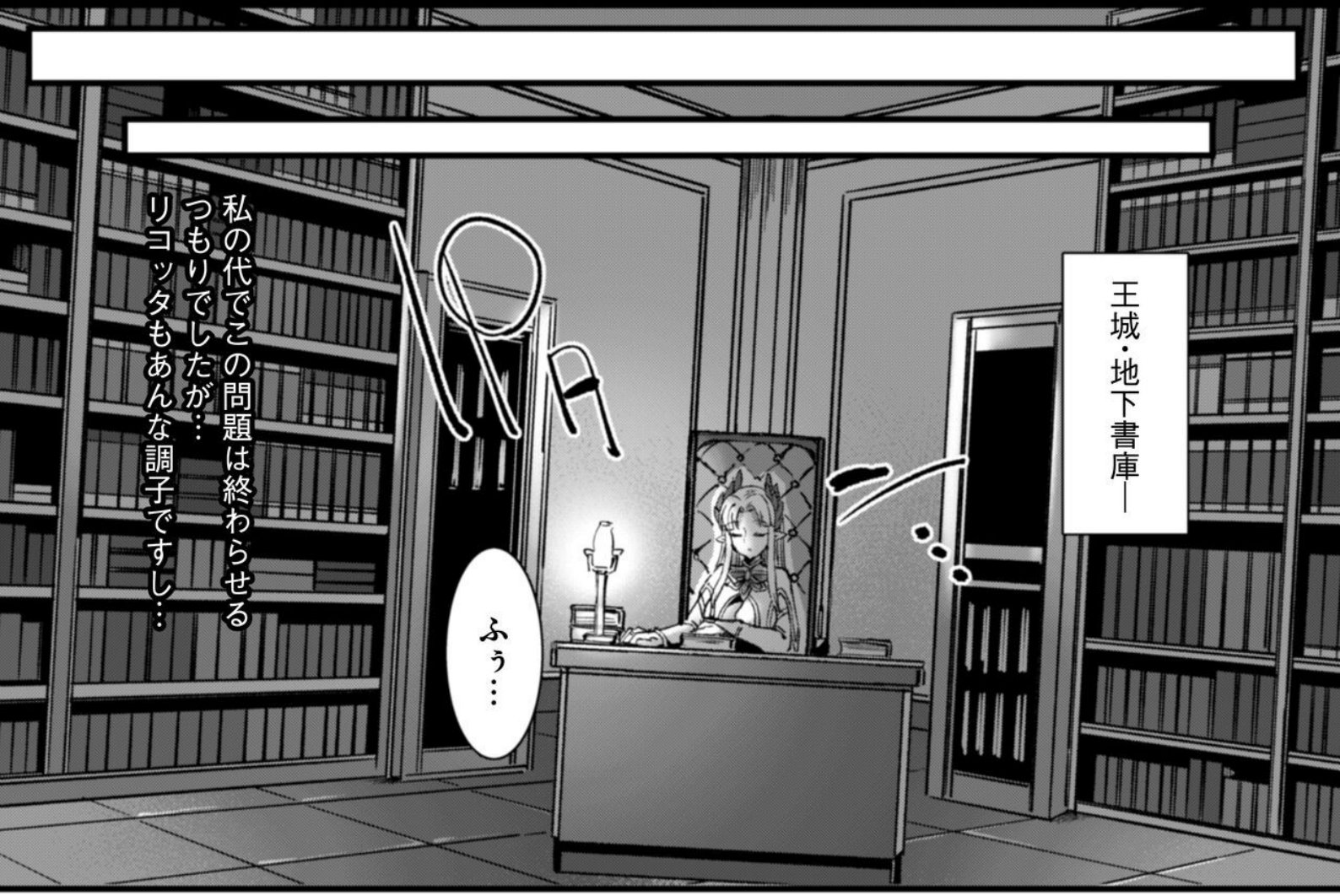

リコッタ様
そのまま抑えて
いてください!!
現実ならば今度こそ
私の魔眼で浄化させます…ッ!!
な…ッ!?
残念♥
な…何故…っ!?
まさかこれも夢…
いいえ?
普通の魔族なら
ひとたまりも無い
でしょうけど
私には効かない
のよ…それ
わな
わな
あっ
だって私は


いいえ
というより貴女を含めこの国の人たちは皆
元々は私と同じ淫魔なんだもの
!?


な…何を馬鹿な!!
そんな話…信じられるか…ッ


救世主君は惜しかったけど今日のところはお暇するわ
それじゃあお元気で救世主君♥


しま…っ待て…!!


王城・地下書庫―
ふぅ…
私の代でこの問題は終わらせるつもりでしたが…
リコッタもあんな調子ですし…


そろそろ救世主様にも話しておかなければいけないかも知れませんね…


私達の…呪いを捻じ曲げた種族の成り立ちについてを――
続く